

各市町教育委員会教育長 様
各市町立小・中学校長 様

さいたま市教育委員会教育長 細田 眞由美
さいたま市立海老沼小学校長 森 裕 子

平成28・29年度 さいたま市教育委員会委嘱（研究推進）

「国語力向上」研究発表会の開催について（御案内）

日頃、さいたま市の学校教育の推進に御理解御協力を賜りまして、ありがとうございます。
さて、標記研究発表会を下記のとおり開催しますので、貴職及び関係職員の参加について格別の御配意を賜りますようよろしくお願いいたします。

記

- 1 研究主題 「想いや考えを表現し伝え合ふことができる子どもの育成」
－豊かな言語活動の実践を通して－
- 2 日 時 平成29年1月16日（火） 13：15～16：30
- 3 会 場 さいたま市立海老沼小学校
所在地 さいたま市見沼区東新井710-5
電話番号 048-686-2125
- 4 指 導 者 さいたま市教育委員会指導主事

5 日 程

受 付	公開授業	全体会	分科会
13:20～13:45	13:45～14:30	14:50～15:10	15:10～16:30

6 公開授業等

(1) 公開授業 13:45～14:30

学年・組	教科等	単元名	授業者	会場
1年3組	国語	オリジナル音読発表会をしよう 「お手紙」	川崎 幸央	1-3 教室
3年3組	国語	防災記事を書いてほうこくしよう 「調べてほうこくしよう」	菊池 健一 菅野 綾香	3-3 教室
6年2組	特別 活動	「海老沼小に感謝の気持ちを伝える ために何をするか考えよう」	内田 順也	6-2 教室

(2) 全体会 14:50～15:10 ※放送により

①あいさつ ②指導者紹介 ③研究の概要説明

(3) 分科会 15:10～16:30

- ・低学年部会 (4年1組教室)
- ・中学年部会 (4年2組教室)
- ・高学年部会 (4年3組教室)

7 交通案内

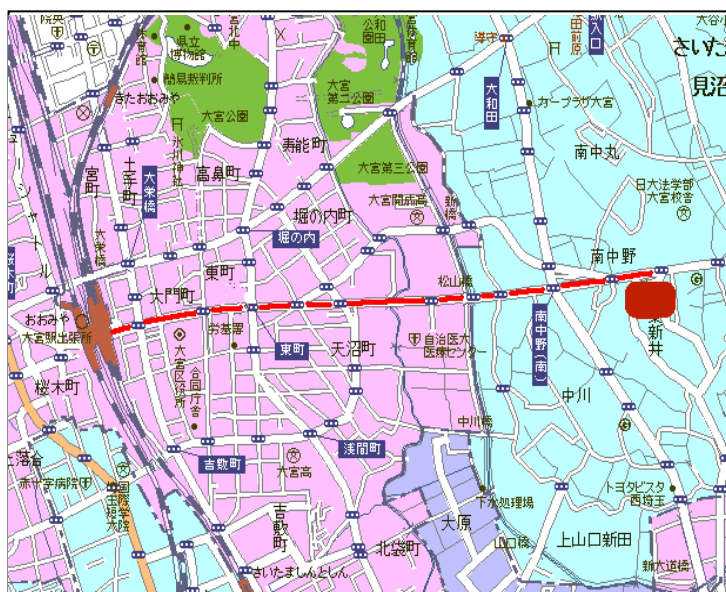
◎バスを利用の場合

- ・JR大宮駅東口バス乗り場7番から「東新井団地」行き、「南中野」下車、徒歩2分
- ・JR北浦和駅東口バス乗り場2番から「東新井団地」行き、「東新井団地」下車、徒歩5分

◎自動車を利用の場合

第2産業道路を東京方面に向かい、南中野の交差点で左折。左手に見えてくる日本大学の駐車場に駐車してください。

(雨天時可)



8 参加申込

配布資料等の準備の都合上、参加の事前申込をお願いします。申込は平成29年12月21日(木)までに、本校教頭川島宛てにFAXまたは使送便でお送りください。

(FAX番号048-686-5350)

駐車場には限りがありますのでできるだけ公共交通機関などを御利用ください。

きりとり

さいたま市立海老沼小学校 「国語力向上」研究発表会参加申込書

学校名	職名	参加者氏名	参加分科会
			○で囲んでください。
			1年・3年・6年
			1年・3年・6年
			1年・3年・6年

第3学年3組 国語科学習指導案

平成30年1月16日(火) 第5校時
在籍児童数 計35名
場所 3年3組教室
指導者

- 1 単元名 「防災記事を書いてほうこくしよう」
教材名 「調べてほうこくしよう」

2 単元について

(1) 児童観

児童は年度当初より日常的に「1分間スピーチ」を行い、自分が考えたことや思ったことなどを友達に発表する活動を行ってきた。友達に伝えたいことを事前に考え、伝え方を工夫しながらスピーチができるようになってきている。国語科の授業においても、自分が選んだ新聞写真を紹介し合う活動などを行ってきた。また、年度当初から「辞書引き学習」にも取り組み、進んで分からない言葉や興味のある言葉を調べる姿勢が身に付いてきている。

また、児童は日常的に新聞を使った学習に取り組んできた。新聞のスクラップをして記事の感想を書いたり、まとめて発表したりする活動を行うのが日常的になっている。そして、教室の中にも新聞の掲示を多くしてあるので、新聞に対しての関心も高い。1学期には「新聞写真から俳句をつくらう」の学習に取り組み、新聞から必要な情報を取り出し、自分の考えたことを表現する活動も行ってきた。

さらに、5月から実践している辞書引き学習の活動を通して、言語に対する興味が高まってきている。辞書引き学習では自分が知っている言葉を辞書で見つけて付箋を貼る活動を行っている。新出漢字や自分が関心をもった言葉について積極的に調べる姿が見られる。そして、日常的なNIEでは、自分が選んだ新聞記事(新聞写真)をスクラップし、感想などをまとめる活動を行いながら新聞に親しんでいる。内容が難しい記事であっても、新聞写真やイラスト、絵や図などに着目して記事を選び、見出しから記事の大まかな内容を理解することができている。辞書引き学習で自分が見つけた漢字を友達に紹介したり、スクラップした記事についての感想を友達に発表したりする活動も行っている。

単元開始前に単元に関わる児童の意識を確認するための調査を行った。結果は以下の通りである。

【意識調査】(調査年月日 平成29年11月30日 調査人数34名)

- ① 普段の授業では、学級の友だちと話し合い活動をよく行っていますか。

そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
人 47%	人 42%	人 11%	0人 0%

- ② 地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか。

ある	どちらかといえば ある	どちらかといえば ない	ない
人 35%	人 35%	人 19%	人 11%

③ 学校の授業などで、自分の考えをほかの人に説明したり、文章に書いたりするのは難しいと思いますか。

そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
人 24%	人 24%	人 27%	0人 25%

この調査では、児童は「普段の授業では、学級の友だちと話し合い活動をよく行っているか」という問いに対して90%近くの児童が肯定的な回答をした。また、社会的な事象への関心を問うた質問にも70%以上の児童が肯定的な回答をしている。普段のNIE活動やペア・グループ学習において、社会的な事象について考えたり、考えたことを交流したりしている効果が表れていると考えられる。しかしながら、「友達に自分の考えを発表するのが難しいと感じるか」という問いには、半数近くの児童が感じていると回答している。この調査から、進んで友達と交流しようとはしているが、その難しさを感じていることが分かった。

今回の単元の学習では、これらの児童の実態を生かして、児童が普段から慣れ親しんでいる新聞記事を題材にして、児童の興味関心を生かしつつ、指導をしていく。その中で、児童が友達に自分の考えや調べたことについて、自信をもって発表できるような工夫をしていきたい。

(2) 教材観

教科書の教材では地域の行事について調べたいことを決め、本やインターネットそしてインタビューなどを通して調べる活動を取り入れている。そして、調べたことを整理し、発表台本にまとめて発表する活動が例示されている。ここでは、児童が関心をもちそうな話題を題材に取り上げ、実際に調べる活動をグループで行い、協力してまとめる活動を通して、主体的で対話的で深い学びを実践する。

今回は、テーマとして「防災」を取り上げた。児童が生まれて今まで育ってくる中で、東日本大震災や熊本地震などの大きな災害が日本を襲った。そして、その傷跡は今も癒えていない。しかしながら、児童の中ではそれらの災害が過去のことであり、自分事として捉えられないでいる。

今回は防災をテーマに取り上げ、新聞やゲストティーチャーなどの人材を活用しながら、実際の震災を調べる活動を取り上げながら児童が探究する活動を取り上げる。その学習を通して、児童が伝えたい中心をはっきりさせて論理的に説明できる能力を育成していきたい。

(3) 指導観

本単元では、東日本大震災を題材として、児童が防災について大切なことを調査やインタビューによって調べる活動を取り入れる。そして、調べたことを記事の形にまとめて報告することを言語活動として取り上げる。そのために、日常的に行っているNIE活動を基盤とし、新聞資料から防災について大切なことを考え、調査やインタビューをもとに調べていくことを単元の初めに知らせる。そして記事のまとめ方や、発表の仕方、そして発表の聞き方についても具体的な方法を児童に捉えさせる。

児童が実際に発表に使用する新聞記事については、新聞社の協力を得ながら児童によいとりやすいものを示す。そして、ゲストティーチャーも招聘し、児童が震災について興味関心をもつようにする。そして、児童が自分の身の回りの防災について考えるきっかけとしていきたい。

さらに、グループで協同しながら調べ学習を行い、調べたことを新聞にまとめる活動を取り入れることによって、児童が主体的に活動できるように指導したい。そのために、協調学習の方法として「知識構成型ジグソー法」を取り入れる。「知識構成型ジグソー法」とは、東京大学・大学発教育支援コンソーシアム推進機構が開発した協調学習の手法で、児童が問いを共有し、いくつかのグループに分かれて活動し、最後に違うグループの友達と新たにグループを作って活動する学習である。この活動はエキスパート活動と呼ばれ、児童一人ひとりがある課題についての答えを詳しく調べることができ、自信をもって活動できるようになる。そして、最後に異なった課題をもつグループの友達と新たなグループを作り、よりよい答えを作り上げていく。この学習は「ジグソー活動」と呼ばれ、それぞれが詳しく調べたことを報告し合うことができるため、児童がより主体的に活動ができることや、異なるグループの友達と意見を交換することにより、問いに対しての理解が期待できる。

今回の実践では、「学校で地震が起こった際に身を守るためには」という問いに対して、児童が学校に自分がある可能性のある場所を選定しそこでの身の守り方を調べていく。調べる学習では、同じ課題をもつ友達と活動し分かったことを記事にまとめる。そして、最後に違うグループの友達と新たなグループを作り、分かったことを発表し合いながら学校で地震があった際に身を守るために必要なことをまとめていく。

3 単元の目標

- ・自分で調べたことについて進んで紹介しようとする。 [関心・意欲・態度]
- ・伝えたいことをはっきりさせて、理由や事例などを挙げながら筋道を立てて話すことができる。 [話すこと・聞くこと]
- ・自分が調べたことについて、新聞記事にまとめることができる。 [書くこと]
- ・表現したり理解したりするために必要な語句を増やし、また、語句には性質や役割の上で種類があることを理解できる。 [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]

4 単元の評価規準

	国語科への 関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	書くこと	言語についての 知識・技能・理解
言語活動例アを具体化し、「防災について調べたことをまとめた記事を活用して発表する活動」を通じた指導				
単 元 の 評 価 規 準	① 防災について関心を持ち、進んで調べようとしている。	② 調べてまとめたことを、組み立てに気をつけて話している。(1) イ ③ 話の中心に気をつけて聞き、自分の考えとの違いを考えながら、感想を伝えている。(1) エ	① 調べたことについて、自分の考えが分かるように学級新聞の記事にまとめている。(2) イ ② 防災について、必要な情報を集め、メモを取ることができる。(2) ア	① 表現したり理解したりするために必要な語句を増し、語句には性質や役割の上で類別があることを理解している。(1) イ(オ)

5 学校課題研究との関わり

研究テーマ

「想いや考えを表現し伝え合うことができる子どもの育成」

—豊かな言語活動の実践を通して—



本単元の学習で育成したい力

- 防災について調べたことについて、組み立てを考えて適切な言葉遣いで話す力
- 話の中心に気をつけて聞き、質問をしたり感想を述べたりする力

(1) 仮説

学習場面において児童に必要感をもたせ、具体的な言語活動を取り入れることによって、伝えたい想いを表現する幅が広がり、伝えたい想いが高まるであろう。

(2) 視点

伝えたい想いを高める言語活動の工夫

(3) 手立て

①単元を貫く言語活動の設定

- ・「防災新聞記事を書いて調べたことを報告する」ことを単元を貫く言語活動として設定し、児童に学習の目的を意識させる。
- ・学習計画表を示し、児童が見通しをもって学習に取り組めるようにする。

②児童の表現活動を支える環境の整備

- ・ワークシートを活用し、児童が活動見通しをもって取り組めるようにする。
- ・黒板掲示などを工夫し、児童が自分の考えを発表しやすくする。

③N I Eの導入

- ・日常的なN I Eを通して（新聞トーク・新聞スクラップ、新聞の掲示など）、児童が新聞に親しめるようにする。
- ・児童が紹介する写真を新聞から見つける活動を取り入れ、主体的な学習を促す。
- ・新聞社との連携を図り、防災についての情報提供をする。

④交流の場の設定

- ・同じ課題をもつグループで調査や知識構成型ジグソー法を取り入れた協働活動を取り入れる。
- ・グループで調べたことをもとに書いた新聞記事を紹介し合う活動を取り入れる。
- ・ゲストティーチャーとの交流を通して、情報を得る活動を取り入れる。

6 指導と評価の計画（全16時間 本時11／16時間）

次	時	主な学習活動	学習内容	学習活動に即した 評価規準[評価方法]
1	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">学習の計画を立てよう。</div> <p>○これまで道徳や特別活動などで、防災についての記事を読んだり、話を聞いたりしたことを振り返る。</p> <p>○単元名やリード文を読み、伝え方について話し合う。</p> <p>○学習の見通しをもち、学習計画を立てる。</p>	<p>・話し合いの仕方</p> <p>・学習計画の立て方</p>	<p>【関】 防災について関心をもったことについて進んで調べようとしている。</p> <p>[観察・発言]</p>
	2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">防災の大切さについて知ろう。</div> <p>○東日本大震災の新聞記事をスクラップして、読み取ったことをメモにまとめる。</p> <p>○スクラップした新聞記事を紹介し合う。</p> <p>○震災についてゲストティーチャーから聞きたいことや知りたいことを話し合う。</p>	<p>・メモの取り方</p> <p>・発表の仕方</p> <p>・話の聞き方</p>	<p>【関】 防災について関心をもち、進んで調べようとしている。</p> <p>[観察・発言]</p> <p>【話・聞】 話の中心に気をつけて聴き、自分の考えとの違いを考えながら、感想を伝えている。(1)エ</p> <p>[観察・発言]</p>
2	3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">防災について調べたいことを考えよう。</div> <p>○ゲストティーチャーの話を聞く</p> <p>○ゲストティーチャーの</p>	<p>・話の聞き方</p> <p>・感想の書き方</p>	<p>【関】 防災について関心をもち、進んで調べようとしている。</p> <p>[観察・発言]</p>

		話を聞いて考えたことを書く。		
	4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">グループで調べることを決めよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○グループで調べる課題を決める。 ○情報の集め方について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考えの書き方 ・情報の集め方 	<p>【関】 防災について関心をもち、進んで調べようとしている。</p> <p>[観察・発言]</p>
	5 6 7	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">必要な情報を集めよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○本などの資料から必要な情報を集める。 ○分かったことなどをメモに取る。 ○防災士の方に手紙などで質問をして情報を集める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集の仕方 ・取材メモの書き方 ・手紙の書き方 	<p>【関】 防災について関心をもち、進んで調べようとしている。</p> <p>[観察・発言]</p> <p>【書】 防災について、必要な情報を集め、メモを取ることができる。</p> <p>(2) ア</p> <p>[観察・ワークシート]</p>
	8 9 10 11 本時	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">調べて分かったことを報告しよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○集めた情報を整理する。 ○分かったことを報告原稿にまとめる。 ○違うグループの友達に分かったことを報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の整理の仕方 ・原稿の書き方 ・発表の仕方 	<p>【話・聞】 話の中心に気をつけて聴き、自分の考えとの違いを考えながら、感想を伝えている。(1) エ</p> <p>[観察・発言]</p>
3	12 13 14	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">防災新聞を作ろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○割り付けの仕方について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・割り付けの仕方 	<p>【書】 調べたことについて、自分の考えが分かるように学級新聞の記事にまとめている。</p>

	<p>○グループごとに防災新聞を作る。</p> <p>○防災新聞の発表練習をする。</p>	<p>・新聞の作り方</p> <p>・発表の仕方</p>	<p>(2) イ</p> <p>[新聞シート]</p> <p>【話・聞】調べてまとめたことを、組み立てに気をつけて話している。(1) イ</p> <p>[観察]</p> <p>【言】表現したり理解したりするために必要な語句を増し、語句には性質や役割の上で類別があることを理解している。(1) イ(オ)</p>
15	<p style="text-align: center;">防災新聞を発表しよう。</p> <p>○作成した防災新聞を発表する。</p> <p>○友達の防災新聞の発表を聞き、感想を述べる。</p> <p>○友達が作った防災新聞のよいところを見つけて発表する。</p>	<p>・発表の仕方</p> <p>・話の聞き方</p>	<p>【話・聞】調べてまとめたことを、組み立てに気をつけて話している。(1) イ</p> <p>【話・聞】話の中心に気をつけて聴き、自分の考えとの違いを考えながら、感想を伝えている。(1) エ話の中心に気をつけて聴き、自分の考えとの違いを考えながら、感想を伝えている。</p> <p>[観察・ワークシート]</p>
16	<p style="text-align: center;">活動をふり返ろう。</p> <p>○活動を振り返り感想をまとめる。</p> <p>○グループで活動についての感想を発表し合う。</p>	<p>・感想の書き方</p> <p>・発表の仕方</p>	<p>【話・聞】話の中心に気をつけて聴き、自分の考えとの違いを考えながら、感想を伝えている。(1) エ</p> <p>[観察・発言]</p>

7 本時の学習指導（11／16）

(1) 目標

- ・作成した新聞記事について、話の中心が分かるように発表する。
- ・学校で地震が起きた時に大切になることをグループで話し合い、発表する。

(2) 展開

学習活動	学習内容	・指導上の留意点 ○評価規準[方法]	時
1 本時の学習のめあてを確認する。	○学習のめあて	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れが分かるように、授業の流れを掲示し、本時の学習の見通しをもつようにする。 ・これまでの活動を振り返り児童の意欲化かを図る。 ・パワーポイントを使うことで、これまでの学習を振り返る。 	5
ジグソーグループで取材したことを発表しよう。			
2 自分の書いた記事の発表の仕方を確認する。	○発表の仕方 ○話の聞き方	<ul style="list-style-type: none"> ・教師のモデルを示して児童が発表のイメージをもてるようにする。 ・紹介の仕方や流れを黒板に示し、いつでも参照できるようにする。 ・紹介の仕方の例を事前に示しておくようにする。 ・前の単元で扱った新聞記事づくりで活用した資料を示し、児童が発表のイメージをもてるようにする。 	5
<p><新聞記事紹介の仕方例></p> <p>わたしは、○○について調べました。</p> <p>調べて分かったことは○○です。記事を○○とまとめました。</p> <p>記事の見出しは○○としました。</p> <p>この記事をもとめて考えたことは、○○です。</p> <p>これで、わたしの記事の発表を終わりにします。</p>			
3 自分が書いた記事の発表を行う。	○新聞写真の紹介の仕方 【話し手】 ・記事を指示しながら話す。 ・声の大きさや間の取り方に気をつける。 ・聞き手の方を向いて話す。 【聞き手】	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに発表を行う。 ・半数のグループが前半は聞き手になり、後半に交代する。 ・聞き手の児童は発表を聞いて感じたことをメモに書くようにする。 ・タイマーで大まかな目安の時間を示し、時間内に活動を終了できる 	15

	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手の方を向いて聞く。 ・発表の中心を考えながらメモを取る。 ・質問したいことを考えながら聞く。 ・発表を聞いてよかったところと、もっとよくなると思うところを感想として述べる。 	<p>ようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前指導として、紹介が苦手な児童には教師が紹介を聞くようにして自信をもたせておく。 <p>○自分の書いた新聞記事について、話の中心が分かるように発表できている。[観察・ワークシート]</p> <p>○友達の発表が終わるまで静かに聞き、感想を述べている。[観察]</p>	
<p>4 グループで、地震が起きた時に大切になることを考える。</p>	<p>○話し合いの仕方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人が発表した新聞記事で共通した内容に目を向けるようにする。 ・話し合ったことを自由に書ける模造紙を用意する。 ・大切になると考えることを3つに絞ってまとめさせる。 ・各グループに報告をさせ、内容を共有する。 	<p>15</p>
<p>5 本時のまとめをする。</p>	<p>○感想の話し方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の感想を話し合い、児童のがんばりを称賛する。 ・これから、新しいグループで新聞づくりを行うことを告げ、意欲をもたせる。 ・東日本大震災についてお話しいただいた新聞社の方に児童の活動に関する感想を話していただく。 	<p>5</p>

8 板書計画

<p>授業の流れ</p>	<p>発表の手順</p>	<p>防災新聞の記事例 聞き取りメモ例</p>	<p>ジグソーグループで取材したことを発表しよう</p>	<p>防災記事を書いて報告しよう</p>
--------------	--------------	-----------------------------	------------------------------	----------------------